

北村秀行の

“チャーマス・ブレイン”

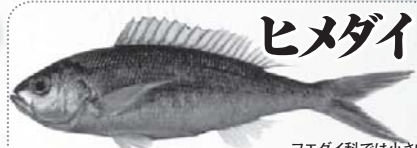
“Char Mas. Brain”

連載 第121回

ヒメダイの仲間

今回は、前号で紹介したハマダイ属と生態が似ているヒメダイ属のうち、ヒメダイと、オオヒメ、キマダラヒメダイ、キンメヒメダイ、シマチビキを紹介。いずれも美味しい魚たちだ！

解説 ●北村秀行



ヒメダイ

フエダイ科では小さい種だが、寿命は長い
学名：Pristipomoides sieboldii
英名：Lavender jobfish
太平洋側、九州西岸、琉球列島、朝鮮半島南岸、台湾、東沙諸島〜インド、太平洋域、ハワイ諸島に分布

「マチ」と呼ばれる魚の仲間

南西諸島海域に生息し「マチ」と呼ばれ、漁業で重要なのはアオダイ、ヒメダイ、オオヒメ、ハマダイの4魚種。これらは資源減少にともない、2005年から30cm以下の捕獲制限、禁漁区や保護区を設けて、資源回復計画が始まっている。現在の漁獲量は、最盛期の1983年の漁獲高2159tの10%以下の200t前後の漁獲で移行している。「マチ」とは沖縄県での地方名。フエダイ科17種、ムツ科

2種、ハチビキ科3種の総称で、漁業では「瀬物」と呼ばれている。

よく似るヒメダイとオオヒメについて！

ハマダイ属と生態が似ているヒメダイ属魚類は、背鰭がほぼ長方形に近く、両目の間が隆起する点で、他の魚属と区別できる。ヒメダイ属(Pristipomoides)は全11種中8種が日本海域に生息する。

◆ヒメダイ (船鰯)

学名：Pristipomoides sieboldii

英名：Lavender jobfish

太平洋側、九州西岸、琉球列島、朝鮮半島南岸、台湾、東沙諸島〜インド、太平洋域、ハワイ諸島に分布。

暖海の100〜380mの海山、大陸棚斜面の岩礁域に生息する。幼魚は浅海にも出現し、フエダイ科の中ではかなり温帯域の北方にも生息する。

体形は細長い紡錘形。体色は茶褐色、両頭に大歯がなく、舌の上に絨毛状歯帯があり、同属他種と区別できる。

側線有孔鱗数は70〜75枚と多い。背鰭の中央部の欠刻が

年齢	尾丈長 (cm)	体重 (g)
1	16.8	85
2	23.2	228
3	28.0	411
4	31.8	605
5	34.6	790
6	36.8	955
7	38.5	1,097
8	39.8	1,215
9	40.8	1,311
10	41.6	1,388
15	43.4	1,588
20	43.9	1,644
25	44.1	1,659

●ヒメダイの成長
ヒメダイの成長は遅い。寿命は40年



●オオヒメ
キンメヒメダイと体型がそっくりだが、目の色や尾鰭の後縁色が違う

や硬くて引きやすい。肉は透明感のある白身で美味だ。刺身、塩焼き、洋風料理などに使える。

関東の市場ではオオヒメと区別しないでオゴダイの地方名で市場に出されている。古くから上物自身魚と周知され主に高級料理店、寿司店で消費され、あまり出回らない魚だ。

◆オオヒメ (大鰯)

学名：Pristipomoides filamentosus

英名：Crimson jobfish

伊豆諸島、小笠原諸島、和歌山県以南の太平洋側、九州西岸、琉球列島、南大東島、南シナ海、インド洋〜西太平洋、ハワイ諸島に分布する。おもに水深100〜400mの岩礁域に生息。

体形は紡錘形でやや側扁す



●キマダラヒメダイ
体側に黄色斑点が散在する。尾鰭上葉が黄色の個体が多い

学名：Pristipomoides auricilla

◆キマダラヒメダイ (黄斑鰯)

学名：Pristipomoides auricilla

関東では珍しいキマダラヒメダイ

肉食性で小魚、甲殻類、軟体動物などをおもに捕食する。最大45cm。

関東の市場では珍しい魚



●キンメヒメダイ
尾鰭後縁が黄色

学名：Pristipomoides zonatus
英名：Oblique-banded snapper
小笠原諸島、南日本、土佐湾、琉球列島、南大東島〜インド、中央太平洋、ハワイ諸島に分布。水深70〜300mに生息する。

●Profile
北村秀行 きたむらひでゆき
1946年9月8日生まれ。
“チャーマス”の愛称で親しまれ、この人なくして今の日本のソルトウォーターアーフィッシングの発展はないと言っても過言ではない。魚やタックル、そして自然など、釣りに関係するありとあらゆる物事に対する豊富な知識から導き出される卓越したフィッシング理論には定評がある。クラブビッグワズ代表。tailwalk スーパーバイザー



●シマチビキ
体側に黄色の斜黄帯が4〜5本ある

学名：Pristipomoides haninani
英名：Golden eye jobfish
小笠原諸島、琉球列島〜台湾、西太平洋〜中央太平洋、アンダマン海に分布。ハワイ諸島には生息しない。水深90〜360mの岩礁域に生息する。

頭部上面に黄色い虫食い斑がある。口中、舌上に絨毛状歯帯はない。側線有孔鱗数は59〜65枚で、オオヒメの60〜65枚に近似している。虹彩は黄金色、尾鰭後縁は黄色っぽい。最大50cm。

◆シマチビキ (縞肌)

学名：Pristipomoides zonatus

英名：Oblique-banded snapper

小笠原諸島、南日本、土佐湾、琉球列島、南大東島〜インド、中央太平洋、ハワイ諸島に分布。水深70〜300mに生息する。